



放射能に汚染された木を燃料とする 木質バイオマス発電に

反対

構造は
焼却炉と
同じ！

石炭火力発電で
福島材を混焼中
→大量の汚染灰

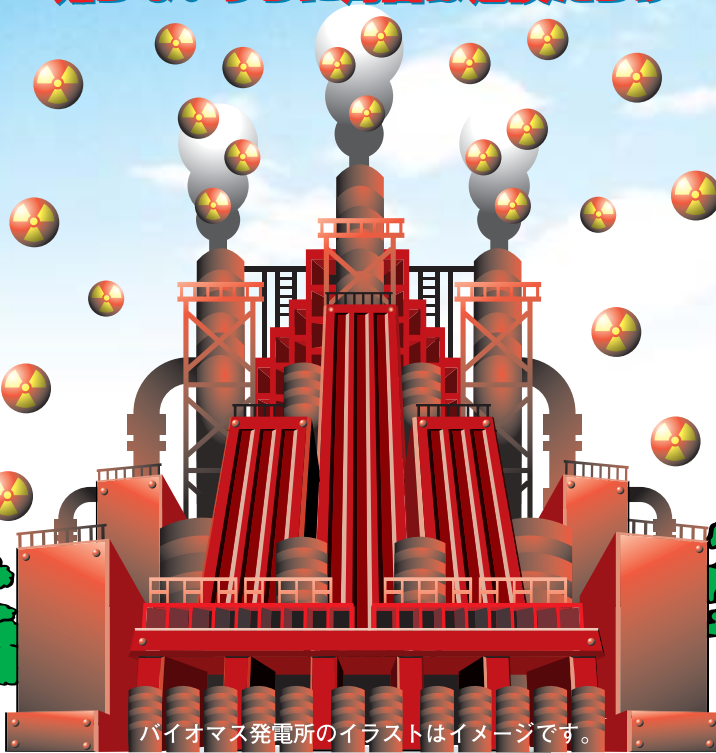
知らないうちに周囲は危険だらけ

放射能の
濃縮した灰を
路盤材に？

事業者を
監視するシステム
はない

バグフィルターで
放射性物質は
除去できない

吸引、
内部被ばくの
危険を知ろう



バイオマス発電所のイラストはイメージです。

甘い言葉に騙されない

- 再生・自然エネルギー
- 地産地消 ● CO₂削減
- 森林整備・間伐
- カーボンニュートラル
- 雇用の確保



バイオマス発電所の燃料チップ

行政裁量で都合よく決められる基準

県の伐採・搬出基準は0.5マイクロシーベルトたったこれだけ！※
空間線量（シーベルト）だけでは
本当の汚染状況はわからない。

※0.5マイクロシーベルトを超えても樹皮が6,400ベクレル以下ならOK!

森林整備・間伐に名を借りた森林除染とその廃棄物の焼却処理施設？

知らないうちに…

0.5マイクロシーベルト以下の地域は木材汚染調査なし！ でも県内の民有林「9割が利用可能」(県木材協同組合連合会)

除染の基準0.23マイクロシーベルト 放射線管理区域0.6マイクロシーベルト

排ガスは降下する——沈着、高汚染

ダウンドラフト

ダウンドラフトとは、山やビルによって生じる下降気流によって排ガスが地面近くに下りてくる現象。ダウンウォッシュとは、山やビルの風下にできる渦に排ガスが巻き込まれる現象。

逆転層

上空に出来る空気の層で蓋(ふた)をした状態になること。排ガスがたまって大気汚染の原因となることがある。1952年4000人以上の死者を出したロンドンスモッグが有名。

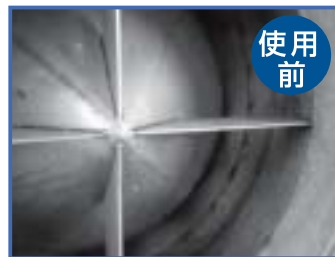
偽りの安全性 バグフィルターで有害物質は防げない

排ガス中の放射性物質やダイオキシンなどは、バグフィルターで除去すると説明されます。

しかしバグフィルターの除去率は、目詰まりの度合いで変わります。目が詰まるほど効果をあげますが、内圧が高まり故障の原因となるため定期的に払い落としをします。払い落とされたフィルターの除去率は半分程度に下がります。

また焼却によって放射性物質や有害物質がガス化しますが、フィルターでガスを除去することはできません。バグフィルターすらない木くずボイラーや薪ストーブはさらに危険です。

焼却炉のフィルターをくぐり抜け 消音機に付着する放射能



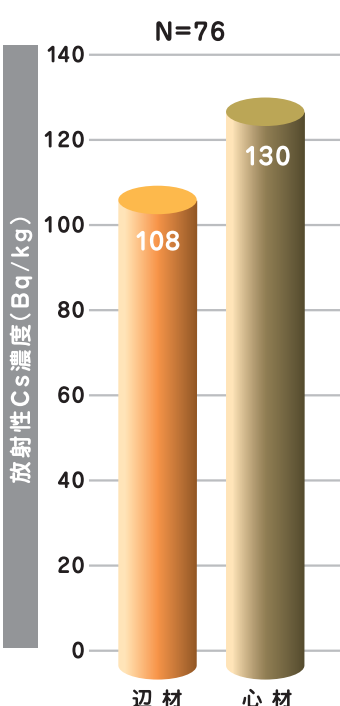
使用前



使用后

井部正之氏(ダイヤモンドオンライン 2012年10月25日)
<http://diamond.jp/articles/-/26833>

「樹皮を剥げば放射性物質はほとんどない」?*



福島県森林計画課 木材に含まれるセシウム濃度

疑問点

測定箇所と測定方法

- 県内76カ所のデータ。(避難指示解除準備区域を含む)
- 1m高さにおける辺材・心材の放射性Cs濃度(平均値比較)

スギは、心材の方が辺材よりも濃度が高い。

【参考】

- 空間線量率0.50μSv/h以下の47カ所の平均データ
辺材32Bq/kg、心材30Bq/kg

※県のデータへの疑問点：詳しくは当会ブログ <http://gomif.blog.fc2.com>で紹介

- 木材に含まれるセシウム濃度は部位により異なる。
- スギの心材部分にセシウム濃度の高まりが見られる。(チェルノブイリの例では10年~15年がピークとの報告)
〈日本学術会議のレポート〉



※県木材協同組合連合会による調査結果